

平成 19 年度日本認知症ケア学会・読売認知症ケア賞「奨励賞」



竹 中 寛（たけなか ひろし）

特定非営利活動法人もちもちの木・理事長

1952 年 8 月 15 日生まれ

【授賞理由】

竹中氏が理想として追究してきた情報の共有と提供は認知症の人たちのケアに対する医療との連携のあり方に大きな改革をもたらすとともに認知症高齢者本人のみならず家族に大きな安心と信頼を与えた。その活動に対し、本賞を授与するとともに、今後ますますの活躍を期待するものである。

【略 歴】

1990 年 7 月～1994 年 6 月	社会福祉法人福祉の森設立準備室・室長
1994 年 7 月～1995 年 8 月	社会福祉法人福祉の森・事務次長
1995 年 9 月～2001 年 10 月	特別養護老人ホーム恵の海・事務次長
2001 年 10 月～2001 年 12 月	NPO 法人もちもちの木グループホーム土橋のおうち
2002 年 1 月～	NPO 法人もちもちの木デイサービス土橋のおうち・管理者

【功績・社会貢献】

NPO 法人「もちもちの木」は、同年 11 月にグループホーム「土橋のおうち」（定員 9 名）をオープンさせた。仲人で「ぼけ老人をかかえる家族の会広島県支部」の世話人であった村上昭氏の遺志をついで同グループホームを立ち上げた。

このグループホームは、広島市平和記念公園の対岸にある中区土橋町の旅館「あしび旅館」の廃業を期に、定期借地権方式で借り受け誕生したものである。旅館の設備をそのまま活用し、1 階をデイサービスと食堂に、2、3 階をグループホームに、4 階を職員宿舎とした。

NPO 法人「もちもちの木」の大きな特徴の 1 つは、日本赤十字広島看護大学と連携し、施設利用者の日々のデータを送信し、大学から送られるフィードバックデータをケアのアセスメントとケアの質向上の重要資料として活用していることである。「介護と医療の連携」を文字どおり実践しているのである。

「もちもちの木」はグループホーム以外にも、デイサービス「土橋のおうち」（定員 13 名）、ヘルパーステーション「もちもちの木」、ふれあいサービス「もちもちの木」、ふらっとホーム「河原町のおうち」を開設し、多面的な小規模高齢者ケアサービスを展開している。ユニークなケア実践は地元の新聞やテレビ番組でも幾度となく取り上げられている。